

島根県吉賀町におけるイヌワシの初記録

永安 誠

島根県鹿足郡吉賀町柿木

First Record of Golden Eagle *Aquila chrysaetos* in Yoshiga-cho, Shimane Prefecture

Makoto NAGAYASU

イヌワシ *Aquila chrysaetos* は北半球の草原や灌木地域に広く生息し、翼を広げると 2 メートル近くある大型の猛禽である。国内には約 500 羽程度しか生息していないとされ (山崎 2014)、天然記念物や国内希少野生動植物種に定められている。さらに、環境省により絶滅危惧 IB 類に (山崎 2014)、広島県、鳥取県、岡山県では絶滅危惧 I 類に (石井 2021, 岡垣 2012, 丸山・多田 2020)、島根県により情報不足に選定されている (森 2014)。

イヌワシは、2018 年 4 月 11 日に、島根県南西部に位置する鹿足郡吉賀町柿木村 (34°26'8"N, 131°51'30"E, 標高 251m) で確認された。

高津川のそばのスギ *Cryptomeria japonica* の枝に止まっていたイヌワシを確認し、ビデオ撮影した (図版 1-A)。その後、飛翔旋回し (図版 1-B)、東に向かって消失した。全身黒褐色で、初列風切の基部と尾の基部が白色であることからイヌワシの若鳥と同定した (真木ほか 2014)。これまで吉賀町ではイヌワシの定住個体は確認されておらず今回観察されたイヌワシは、漂行してきたと考えられる。

現在、イヌワシが確認された場所の西側約 13km の吉賀町、山口県岩国市錦町、周南市鹿野にかけて米山～平家ヶ岳の尾根上に 33 基の巨大風力発電機の建設が西中国ウインドファーム事業 (仮称) として計画されている。これらの風力発電機の設置に伴って、渡り鳥が風車に衝突死するバードストライクが懸念される。今後、開発や環境の変化が、イヌワシやクマタカ *Nisaetus nipalensis* などの希少猛禽類に与える影響について、継続調査が必要である。

イヌワシの同定へのご意見をいただいた吉賀町の吉岡 操氏に心からお礼を申し上げる。

引用文献

- 石井 秀雄 (2021) イヌワシ. 広島県の絶滅のおそれのある野生生物 (第 4 版) —レッドデータブックひろしま 2021—: 109. 広島県
- 岡垣 大志 (2012) イヌワシ. レッドデータブックとっとり改訂版—鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物—: 47. 鳥取県生活環境部公園自然課
- 真木 広造・大西 敏一・五百澤 日丸 (2014) 日本の野鳥 650. 平凡社, 東京
- 丸山 健司・多田 英行 (2020) イヌワシ. 岡山県版レッドデータブック 2020 —絶滅のおそれのある野生生物—: 88. 岡山県環境文化部自然環境課
- 森 茂晃 (2014) イヌワシ. 改訂・しまねレッドデータブック 2014 動物編—島根県の絶滅のおそれのある野生動物—: 65. 島根県環境生活部自然環境課
- 山崎 享 (2014) イヌワシ. レッドデータブック 2014. 2 鳥類—日本の絶滅のおそれのある野生生物—: 96-97. 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室



A : 飛翔するイヌワシ幼鳥 2018年4月11日
B : 枝に止まるイヌワシ幼鳥 2018年4月11日